

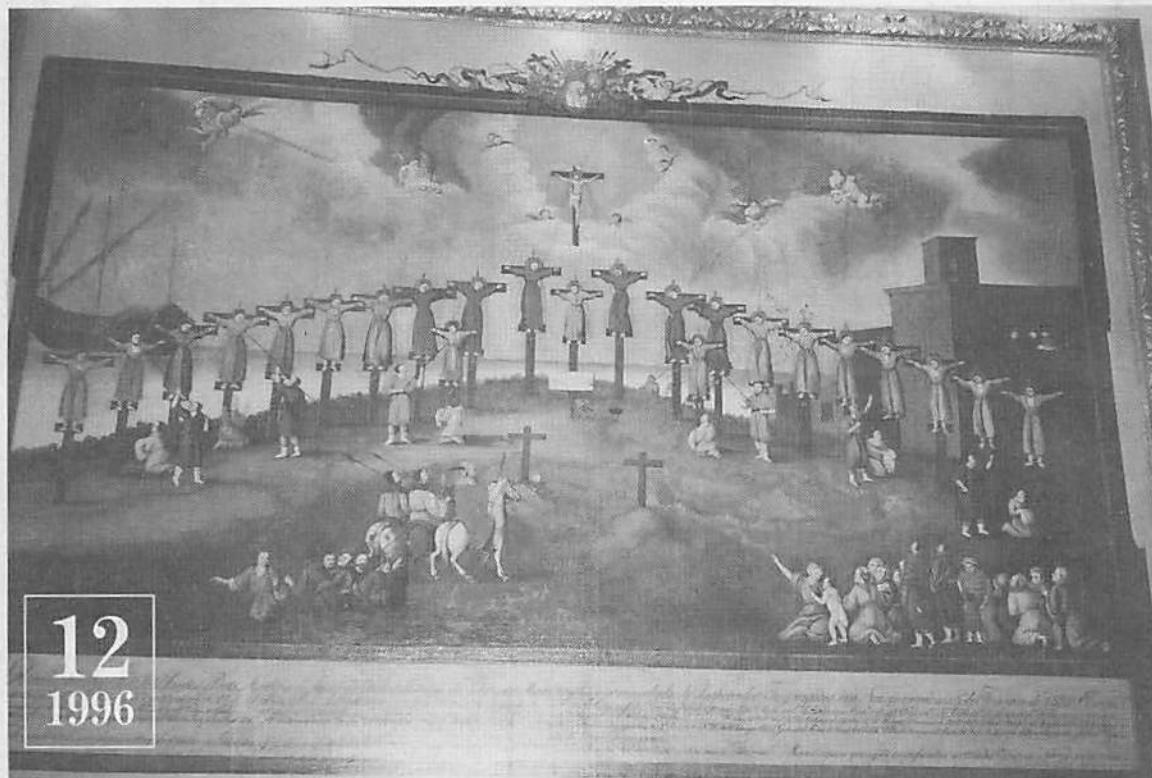
# 京都教区時報

カトリック京都教区ザビエルネット／アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST 通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N  
e-mail catholic@mbox.kyoto-inet.or.jp Home Page http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/

第229号

田中司教認可  
発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
カトリック会館  
編集用 TEL・FAX  
0775-27-6800  
(滝野)

5頁 二十一世紀の福音宣教に向かって(1)



12  
1996

## 秀吉の捕縛命令

秀吉の命令により、一五九六年十二月八日には、京都のフランススコ会修道院に、また大阪のフランスシスコ会士およびイエズス会士の住居に対して、次いで二日後にはイエズス会の神父たちの住居に、見張りの者が置かれました。

十二月三十日、秀吉は、フランスシスコ会士およびその信者たちの耳や鼻をそぎ落し、京都、大阪、堺の目抜き通りを引き回し、長崎においてはりつけにすべしと厳達しました。

あくる三十日に、役人たちは、フランスシスコ会士、マルチノ・デラ・アセンシオン神父とその伴侶である三人の日本人、およびイエズス会修道士パウロ三木とその伴侶の二人を、大阪から京都へ引き立てて牢屋にぶち込みました。一五九七年一月二日、京都に留まっていたフランスシスコ会士と伴侶が捕らえられました。あくる日の一月三日、京都で耳そぎの仕置きを受けました。

写真はマカオの司教館にある二十六聖人の殉教図。

## タイ国スリン県でのプロジェクト統報

—ヌヴェール愛徳修道会スール・モニカ—

タイ国スリン県での奨学金制度  
が始まり、六年目を迎えました。

この奨学金制度の最初から関わっておりました小学生も、中学三年を終え、あるものは家族を助けるために働きに、あるものは職業訓練校に進んで行きました。

今年度は、昨年度からの小学生の内、四十五名が続いて奨学生として留まり、中学生は二十六名がそれぞれ進級いたしました。従いまして、一九九六年度の小学生を新規三十四名、中学生を新規二十一名選び、合計百二十六名を奨学生の家族として迎えました。決定の段階で、百二十六名として出発いたしましたが、説明会が終わり、新年度が始まつた時点での家庭の事情で転宅を余儀なくされた生徒等があり、毎年のことではあります。が、貧しい人々の状態は変化が激しく不安定な現実に遭遇致しました。

今年は小学生が二十八名卒業し、その内、家庭の状況等で転宅したり、家族を助けるために働きにくく等の生徒もあり、十五名が中学校に進級致しました。

まだ義務教育としての法律化には至っていませんが、タイの

教育界では中学三年までを義務教育化する方向で進められているようです。私共としては、先ず小学生に教育の機会が与えられるよう優先的に努力すると共に、徐々に中学三年まで、教育の機会を与えることが出来ればと考えています。

### ●自立と自己開発が目的

中学生を援助する場合、私共は一年より以下のように保護者と話し合っています。即ち、援助するに当たつて本人と家族の自立と自己開発を助けることを目的とし、

各自の責任と努力によって自活で

きることを助けるために、途中で勉学を放棄した場合、私共が支払った経費の半額は返却してもらうこと。(ただ、何となく行きたいということを阻止するため)

二、昼食代とバス代は保護者が責任をもつこと。(ただし、ケースバイケースで必要な人には援助する)

ということでした。

これは保護者が子供の教育に対して責任を持ち、共に生徒を教育しているという自覚をもたせるためです。

小学生につきましても、従来から、奨学生として私共と共に歩んできました生徒の中で、家庭の事情で他県に移つたり、また、嬉しくことに、中には皆様のご支援のお陰で家族の状況もよくなり、共に家族が助け合いながら自分たちで自立出来るようになつた者もあります。そのため、新規により貧しい生徒を支援することが出来るようになります。こうして、一年一年本人と家族の状況を見守りながら、より適切な、自立、開発を促進出来るようにと共に歩んで参りました。

このような傾向はここ二・三年特に目立つ特徴です。スラムではなく、普通の町並みの中に埋もれている貧しい人たちを少しづつ見出し、関わつていけることは嬉しいことです。私共もうやくスリンの学校、並びに街の人々から信頼して頂けるようになって来たことを感じ、喜ぶと同時に新たに心を引き締めています。

現在、タイ人のスタッフ三名、日本人のスタッフ四名の七名で活動しています。

最近はこれらの家々は他の地域に追いやり道路も舗装され、見違えるように環境も改善されてきました。しかし、その反面、私共が関わります子供たちの家々は新しく建

てられた家、オフィス等の陰に隠れ、今年の新しい奨学生の家庭を訪問した時感じたのですが、本当に貧しい人が多いということです。

今まで貧しい人たちでしたが、今年は更に、路地の奥の奥、家と家の谷間に隠れている家等があり、家庭訪問する時に苦労しました。近所まで行きながら、近くの人たちは知らないのです。グルグル回り回つてやつとその場で生徒を見つけ、家まで案内してもううといつた調子です。

（連絡先）ヌヴェール愛徳修道会  
管区事務所 シスター下田  
電話075（642）6279

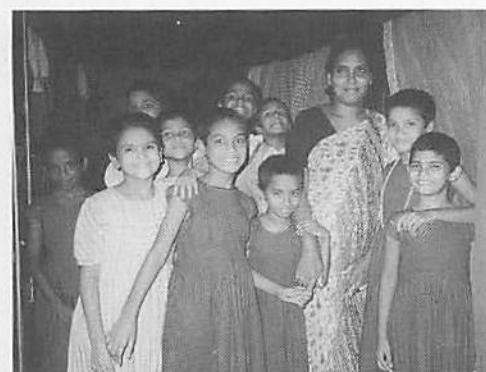
## バングラデシユをたずねて

徳永志織  
(富雄教会)

バングラデシユは、イスラム教徒が人口の大多数を占めている国で、キリスト教徒は少数派です。街のあちらこちらにモスク(イスラム教寺院)があり、早朝からコーランが聞えています。郊外の農村では牛や羊はいたる所で見かけましたが、豚は全く見ませんでした。加えて、休日は日曜日ではなく金曜日です。

このようなイスラム教が人々の生活のある種基盤になっている社会の中で、カトリックの修道会、カリタス、Y.M.C.A、Y.W.C.Aなどは、様々な活動を通じて社会に貢献し、社会に受容されています。孤児院、職業訓練校、スラムの学校などを見学させていただきましたが、その中で私が特に興味をもつたのは、複数の団体がおこなっている、女性のための教育プログ

ラムでした。



女性をとりまく厳しい状況を克服するには、まだまだ時間が必要でしょう。しかし、真剣に文字を習い、楽しそうに縫い物をする女性たちの熱心さが、将来を展望する上での明るい光だと感じました。

特に貧しい生活をしている女性の中に多いのです。そこで、成年女性に読み書きを教える教室を設けたり、地域ごとに生活改善に取組むグループを作つたりと、様々な活動がおこなわれています。また、裁縫を教え、女性が内職で少しでも経済力を持つようにもしています。

## '97福音センター養成コース予定

| 期日             | 場所                   | コース名         | 期日           | 場所                   | コース名     |
|----------------|----------------------|--------------|--------------|----------------------|----------|
| '97<br>4月12・13 | 京都南部                 | コミュニケーションコース | 7月5・6        | 奈良野外礼拝センター           | 養成コース    |
| 5月9・10・11      | 宝塚<br>壳布<br>默想の家     | 病人司牧コース      | 10月25・26     | 西院会館                 | 典礼コース    |
| 5月23・24・25     | ノートルダム<br>唐崎<br>祈りの家 | 祈りのコース1      | 11月14・15・16  | ノートルダム<br>唐崎<br>祈りの家 | 祈りのコース2  |
| 6月14・15        | 津研宗館                 | 養成コース        | 3月2<br>又は3月9 | いづれかの教会              | 典礼コースの出前 |

## 名張市キリスト教会

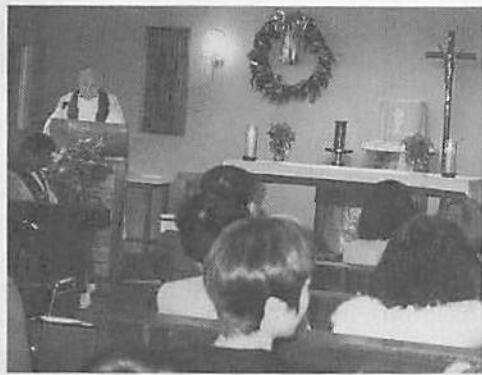


名張市では初めての合同クリスマスが昨年十二月十七日に催されました。数年来より地区の各宗派キリスト教の代表者とウイック神父様と和田先生が中心となって、キリスト教会一致運動（エキュメニズム）の為の祈りと準備をして

きたことが実りました。

名張でのキリスト教各宗派の方々は、日本キリスト教団、ルーテルキリスト教会、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団で、牧師様・信徒の皆様が真に教会一致を願い、互いに尊敬と信頼の上に協力体制が出来、明るく楽しい雰囲気の中でプログラムが組まれ、第一部は御聖堂にて礼拝式、第二部はホールにてお祝い会と決まりました。

第一部では、合同練習をした聖歌と共にウイック神父様、牧師様が揃つて入堂され、儀式が始まり、新共同訳聖書が牧師様によって朗読され、ウイック神父様の説教と続き、神父様の祝福で終り、合同での礼拝式は感動的でした。



第二部のお祝い会は、「皆一になろう、主のもとに」を目標に、聖歌、フォークダンス、ゲーム、ダベリングで参加者全員で進行しました。始めはお互いに少し違憲味でしたが、何時の間にか自然に家族的な交わりとなり、時間の経過も忘れ、午後十時過ぎまで樂しみ、心から主の御誕誕をお祝する事が出来ました。この喜びは神様よりいただいた大きなお恵み



であり、感謝の気持ちで一杯でした。この喜びを總ての人々に味わっていただけで、今後は規模を拡大し、合同クリスマスを催したいと思っています。

尚、今年の合同クリスマスはたくさんの人達に参加していただけたために、場所を名張産業会館に移し、十二月八日に行ないます。今年の第二部では、聖書に基づいたオペラ調のものを各教会が発表できるように練習に取組んでいます。その後の各教会の出し物のために、カトリック名張教会では聖マルチノの人形劇を準備しています。

## 二十一世紀の福音宣教に向かって(1)

十一月二十三日の日本二十六聖人殉教四百年祭在京都に向けて、

各小教区、各施設、各団体で、

「紀元二千年をめざしての五カ年計画」を作成されましたが、

五カ年計画でなく、二千年をめざしての取組みとして提出されたところもありました。そこで、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題で、掲載を続けさせて頂きます。

今回は号外の掲載に間に合わなかったところの分を紹介致します。今後作成されるところがありまし

たら、教区時報編集部宛にお送り下されば、順次掲載していきます。

◆一九九六年のテーマ

イエス・キリストが私たちの中

にいつも生きておられることに感謝し、喜び祝おう

◆パウロ六世の『福音宣教』を学ぼう。

・小教区の中で新たな宣教活動を始めよう。

◆二〇〇〇年のテーマ

イエス・キリストが私たちの中

にいつも生きておられることに感謝し、喜び祝おう

◆五年間のテーマ

五カ年計画を教会と私たち自身

◆一九九七年のテーマ

もつと深くイエス・キリストを知ろう

◆日本二十六聖人の生き方をビデオ、伝記から見習う。

◆一九九八年のテーマ

洗礼の原点を見直す。

・みことばと教理を学ぼう。

◆一九九八年のテーマ

みんなで聖靈を呼び求めよう

▼『教会憲章』を学ぶ。

・ミサ以外で、聖靈の導きを願う祈りの場を設ける。

◆一九九九年のテーマ

御父の愛に結ばれて、すべての人と手をつなごう

▼まわりの人を大切にしよう。

・小さい人々、弱い人々、国際交流に目を向けよう。

・『現代世界憲章』を学ぼう。

◆二〇〇〇年のテーマ

イエス・キリストが私たちの中

にいつも生きておられることに感謝し、喜び祝おう

◆パウロ六世の『福音宣教』を学ぼう。

・小教区の中で新たな宣教活動を始めよう。

◆二〇〇〇年のテーマ

イエス・キリストが私たちの中

にいつも生きておられることに感謝し、喜び祝おう

◆パウロ六世の『福音宣教』を学ぼう。

・小教区の中で新たな宣教活動を始めよう。

◆二〇〇〇年のテーマ

イエス・キリストが私たちの中

にいつも生きておられることに感謝し、喜び祝おう

ト共同体」として、少しでも信仰において成長していくよう努力する

人殉教四百年祭在京都に向けて、各小教区、各施設、各団体で、

「紀元二千年をめざしての五カ年計画」を作成されましたが、

五カ年計画でなく、二千年をめざしての取組みとして提出されたところもありました。そこで、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題で、掲載を続けさせて頂きます。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサのあと、その日の福音書を中心、「みことばの分かち合い」をする。

◆一九九六年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

・豊臣・徳川時代にかけて起きた

ト共同体」として、少しでも信仰において成長していくよう努力する

人殉教四百年祭在京都に向けて、各小教区、各施設、各団体で、

「紀元二千年をめざしての五カ年計画」を作成されましたが、

五カ年計画でなく、二千年をめざしての取組みとして提出されたところもありました。そこで、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題で、掲載を続けさせて頂きます。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

・豊臣・徳川時代にかけて起きた

ト共同体」として、少しでも信仰において成長していくよう努力する

人殉教四百年祭在京都にて、各小教区、各施設、各団体で、

「紀元二千年をめざしての五カ年計画」を作成されましたが、

五カ年計画でなく、二千年をめざしての取組みとして提出されたところもありました。そこで、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題で、掲載を続けさせて頂きます。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆一九九六年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

たキリスト教迫害の弾圧下において、いのちをかけて自分の信念を守り通した日本二十六聖人の殉教が現代の私たちに投げかける意味について、「みことばの分かち合い」の場で考える。

ト共同体」として、少しでも信仰において成長していくよう努力する

人殉教四百年祭在京都にて、各小教区、各施設、各団体で、

「紀元二千年をめざしての五カ年計画」を作成されましたが、

五カ年計画でなく、二千年をめざしての取組みとして提出されたところもありました。そこで、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題で、掲載を続けさせて頂きます。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆一九九六年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

たキリスト教迫害の弾圧下において成長していくよう努力する

人殉教四百年祭在京都にて、各小教区、各施設、各団体で、

「紀元二千年をめざしての五カ年計画」を作成されましたが、

五カ年計画でなく、二千年をめざしての取組みとして提出されたところもありました。そこで、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題で、掲載を続けさせて頂きます。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆一九九六年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

◆二〇〇〇年の実施項目

・毎週のミサの共同祈願で、長崎教区作成の祈りのカードを唱える。

たキリスト教迫害の弾圧下において成長していくよう努力する

お  
知  
ら  
せ

1996年12月1日発行(229号)

## 京都教区時報

- 三重地区の行事**
- ◆バザー 1日。四日市教会
  - ◆クリスマス 21日。津保育園
  - ◆暮しの中のカウンセリング 毎月曜日10時~12時
  - ◆韓国語講座 每木曜日10時~12時
  - ◆茶道教室 每木曜日13時~15時
  - ◆自然治癒力健康法温熱療法 每金曜日11時~13時
  - ◆受験生の宿泊利用 問合せ先||津教会。
  - ◆A A 每土曜日18時~20時
  - ◆FAX 0592(29)2305
  - ◆奈良地区の行事
  - ◆黙想会 (詳細は各教会にお問合せ下さい)
  - ◆奈良教会 7~8日
  - ▼登美ヶ丘教会 21~22日
  - ▼富雄教会 1日
  - ▼大和郡山教会 7~8日
  - ▼御所教会 7~8日
  - ◆青年を対象とした「ローマの信徒への手紙を読んで聖書と親しむ」
- 京都南部地区の行事**
- ◆子羊会クリスマスパーティー 8日。大津教会
  - ◆朝禱会 (すべてのキリスト者に開かれた超教派の祈りの運動) 每火曜日7時~8時。河原町教会
  - ◆伝道館。朝食及び雑費||三百円。事務局075(751)2337
  - ◆FAX 0592(29)2305
  - ◆GREGORY聖歌と一緒に歌いましょう 每土曜日19時。高野教会。
  - ◆黙想会 (詳細は各教会にお問合せ下さい)
  - ◆奈良教会 7~8日
  - ◆連絡075(781)1245川原
  - ◆連続講座「聖書の世界・ヘレンズム時代を背景にして」 每金曜日19時。小山教会。講師=伊藤照夫(産業大学教員)。無料。
  - ◆連絡075(491)1877
  - ◆南信協評議員会 1日14時。河原町教会
- 滋賀地区の行事**
- ◆子羊会クリスマスパーティー 8日。大津教会
  - ◆福音セントナ! 祝祭日休館。日曜日18時閉館
  - ◆聖書研究と手話の勉強 每木曜日19時30分
  - ◆Sr.アスンタの書道教室 每金曜日13時30分。お茶代百円
  - ◆柳本神父の雑学講座 4日10時半。テーマ=異人館と神戸。資料代五百円
  - ◆映画会 14日
  - ◆聖書講演会 12日
  - ◆聖書講演会の今後の予定
  - ◆聖書講演会 1月23日「詩編50」中川博道
  - ◆連絡075(223)2291
- 西院カトリック会館行事**
- ◆おてんとさんの会 每火曜日13時~16時30分。お茶代百円
  - ◆Sr.アスンタの書道教室 每金曜日13時30分。月謝三千円
  - ◆柳本神父の雑学講座 4日10時半。テーマ=異人館と神戸。資料代五百円
  - ◆ASIPAセミナー・アジアにおける総合司牧神学 1月26日(31日)。内容=アジアとは?総合的、司牧的、取組み(信徒使徒職委員会協賛)。聖書から生活へ、生活から聖書へ。「教会」を考えるうえでの取り組みを学ぶ。信徒修道者、司祭対象。定員三十五名。連絡052(831)5037
- 河原町カトリック会館行事**
- ◆糠みその会 12日。九条教会
  - ◆信睦二金会 13日。西陣教会
  - ◆十字架の聖ヨハネ聖体顯示と講話 14日。女子カルメル
  - ◆在世フランシスコ会京都兄弟会例会 15日13時30分。フランシスコの家
  - ◆共同回心式 21日19時30分。大和八木教会
  - ◆クリスマスタブロー 24日18時。洛星中高等学校
  - ◆力ナの会結婚相談室 1日13時受付。13時30分~15時
  - ◆Sr.ドローレスの聖書講座 13日10時30分
  - ◆レジオ・マリエ京都コミニチウム 15日12時30分
  - ◆一万匹の蠍 18日19時
  - ◆キリストン研究会 22日14時
  - ◆河原町カトリック会館行事 3月13日「詩編40」奥村一郎師

# あんてな (((((お))))))

「神の国はただあなたがたの中にある」ジャパン・ユース・ディ(以下JYD)に参加して、この神様の言葉を心から感じました。ここに神様がいない訳がない!という体験をすることができたのです。

晴佐久神父の呼びかけで青年が集まり、動き出したジャパン・ユース・ディ。昨年の八月、私は初めてJYDミーティングのために東京へ行きました。何ができるかわからぬ。だけど何かを作りあげてみせる!という神父と十数人の青年に出会いました。そして、数々の集まりやミーティングに参加するたび、少しずつ少しずつ、目には見えないけどすごい何かを感じていました。

今年の二月、青年センターでは、京都教区青年のつどい「とにかく会いたい!!」を開催しました。JYD実行委員長の中野くんが東京から参加し、JYDのアピールをしてくれました。これによつて、京都教区はJYDに向けて動き出しました。

WOODSTOCK TE  
N N I S C L U B、歴史観光サークル『スヌーピー』、湯めぐりクラブ、NICE青年ネットワークの四つのJYDクラブを作ることができました。

そして今年の九月、埼玉でジャパン・ユース・ディは開催され、私たちは、この四つのクラブを持って参加しました。

驚いたことに参加者は四百名を数え、フィリピン、韓国、インドネシアなどのほか、数多くの外国人、プロテスタンの青年の参加もありました。

今回、三十二のJYDクラブの参加がありました。JYDの大タイトルは「神のみ栄えのため」

「キリストの建てられたみ国の建設に進む」です。カトリック要理クラブや祈りのクラブがある中で、京都教区のJYDクラブは、信仰とどう関係があるのか、と思われた方もいらっしゃるでしょう。

「神の国はただあなたがたの中にいる」この言葉のように、人が集まるところには、神様が必ずいてくださいます。テニスで、湯めぐりで人が集まる。集まれば、何かが動きだし、何かが生まれると私

## カトリックの若者もすてたものじやない!

NNIS CLUB、歴史観光サークル『スヌーピー』、湯めぐりクラブ、NICE青年ネットワークの四つのJYDクラブを作ることができました。

たちは信じているのです(実際、テニスがあるからJYDへ来了!)。という人もあつたのですよ!」。

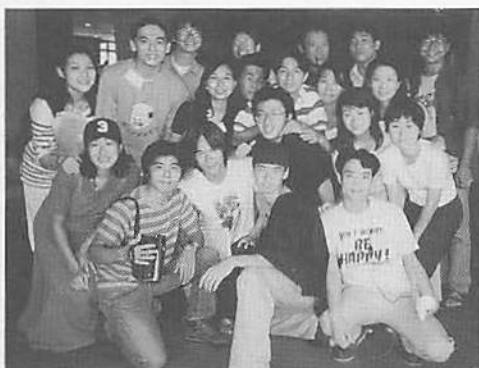
毎日のミサ、セミナー、クラブ、分かち合いを通して、北海道から沖縄までの全国から参加している青年たちと交流することができます。たしかにそこには神様によつて集められた私たちがいて、神様を信じて集まつた私たちがいました。このすばらしい大会のために

よくがんばった、JYDスタッフや、それぞれの地域で、さまざまな活動をしている全国の青年に出会えたことを本当に感謝しています。

JYDによってそれぞれの教会へ派遣された私たちが次にすることは...。今年の十一月、日本二十六聖人殉教四百年祭 in 京都が開催され、そのプログラムに平行し、青年のつどい「LOOK AT ME」を行いました。四百年間日本人が命をかけて守り続けたカトリックとは何か。紀元二〇〇〇年に向けて私たち青年ができることはいつたい何なのか。その一環として、

この「LOOK AT ME」を企画しました。JYDで分かちあい、学び、感じたことを、これから役立たせることができますように。

(記・小木曾恵美子)



(((お))) あんてな

## 教区スケジュール

12月

|                             |
|-----------------------------|
| 1日 (日) 経済問題評議会              |
| 5日 (木) 司教顧問会                |
| 7日 (土) 宣教司牧評議会              |
| 13日 (金) 宣教司牧評議会             |
| 24日 (火) 市民クリスマス・クリスマス深夜ミサ   |
| 25日 (水) クリスマスミサ             |
| 26日 (木) 教区中学生会合宿 (大津教会)     |
| 26日 (木) 教区高校生会合宿 (野外礼拝センター) |

## お知らせ

### ◆司祭の異動

▼大和八木教会主任 オヘール師 (8月5日付)

▼京都働く人の家担当 福岡師 (10月1日付)

◆西院会館利用料金の改定 (10月1日付)

▼滋賀働く人の家担当 滝野師  
◆西院会館利用料金の改定  
西院カトリック会館の利用料金を来月一月より左記のように改定致します。

・大ホール 一時間単位二千円

・小ホール 一時間単位千円

・他設備、音響機器 各使用一回

每五百円

・湯沸室 各使用一回毎五百円

・スクリーン 使用は無料

◆青年センターよりお知らせ

▼青年センター休館日

3日、7日、10日、17日、21日、23日、24日、28日～31日

◆運営委員会 14日～15日。青年センター

▼柳本神父一九九七年てづくり絵カレンダー

京都カトリック青年センター企画、制作の柳本神父一九九七年てづくり絵カレンダー、予約受け付け中です。

一九九七年は精華、伊勢、大和郡山、北白川、西舞鶴、大津の各小教区の聖堂の切り絵です。

一部八百円、十部以上の場合一部七百円です。カレンダーの利益は青年センターの活動資金になります。希望者は、氏名、電話番号、住所を明記の上、青年センターまで申し込み下さい。

◆部落問題委員会学習会

路上の子どもたち—ブラジル・ストリートチルドレンの闇い—

(ブラジルのジャーナリストの取材に基づくドキュメンタリー)

14日19時。河原町カトリック会館。

連絡075(223)2291

ブラジル人口、一億五千万人のうち、四千五百万人の子どもが、

基本的人権を奪われている。

一九九〇年までの五年間で、九歳～十七歳の子ども、千八百二十人が殺害された。非常なシステムが、ここブラジルでは日常化している。

子どもがこれほど生きにくい時代があつただろうか、特に南の国々において。子どもの権利条約が採択された今日、現地レポートを中心に子どもたちの素顔と肉声をとらえ、現代における子どもの権利とは何かを考えてみましょう。

◆福音センターよりお知らせ

▼聖書講演会の参加費を11月号で五百円とお知らせしましたが、

七百円に変更しましたので、ここにお詫び致します。

◆編集部よりお知らせ

お知らせに載せたい行事の情報

代があつただろうか、特に南の国々において。子どもの権利条約が採

択された今日、現地レポートを中

心に子どもたちの素顔と肉声をと

らえ、現代における子どもの権利

とは何かを考えてみましょう。

◆福音センターよりお知らせ

▼聖書講演会の参加費を11月号

で五百円とお知らせしましたが、

七百円に変更しましたので、ここにお詫び致します。

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話 (相談窓口)

道師。12日10時～12時。七百円

◆音楽講座 世紀の秘曲、アッ

レグリ「ミゼレレ」とルネッサンス・バロックのクリスマス音楽。

▼映画会 ディズニー「一〇一

匹わんちゃん大行進」。14日10時～11時30分。入場無料

主催＝カトリックきょうと福音セ

ンター。

連絡075(822)7123。

◆「一万匹の蟻運動」基金報告

累計13,407,556円

加入者 857名

(10月15日現在)

◆編集部よりお知らせ

お知らせに載せたい行事の情報

は、1月号でしたら11月30日まで

に、2月号でしたら12月31日まで

に、FAX0775(227)68

00にお願いします。

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話 (相談窓口)

道師。12日10時～12時。七百円

◆音楽講座 世紀の秘曲、アッ

レグリ「ミゼレレ」とルネッサンス・バロックのクリスマス音楽。

▼映画会 ディズニー「一〇一

匹わんちゃん大行進」。14日10時～11時30分。入場無料

主催＝カトリックきょうと福音セ

ンター。

連絡075(223)2291

匹わんちゃん大行進」。14日10時～11時30分。入場無料

主催＝カトリックきょうと福音セ

ンター。

連絡075(822)7123。

◆「一万匹の蟻運動」基金報告

累計13,407,556円

加入者 857名

(10月15日現在)

◆編集部よりお知らせ

お知らせに載せたい行事の情報

は、1月号でしたら11月30日まで

に、2月号でしたら12月31日まで

に、FAX0775(227)68

00にお願いします。

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話 (相談窓口)

道師。12日10時～12時。七百円

◆音楽講座 世紀の秘曲、アッ

レグリ「ミゼレレ」とルネッサンス・バロックのクリスマス音楽。

▼映画会 ディズニー「一〇一

匹わんちゃん大行進」。14日10時～11時30分。入場無料

主催＝カトリックきょうと福音セ

ンター。

連絡075(223)2291